

No.1 別紙

1 活動名 オンライントーク 森と生きるツキノワグマ参加

2 研修の目的

(1) 本市における課題 上高地、波田・梓川地区で、クマと人間の遭遇事故が散見されている

(2) 研修の必要性 クマとの共存共生社会を探り、特に奥山や山岳地域でクマと人間の遭遇事故を防ぐ必要がある。

(3) 研修項目 研修内容に同じ

3 研修内容

(1) 日時 令和3年4月15日（木）

(2) 会場 オンライン（ZOOM）

(3) 出席者 1名 神津ゆかり

(4) 内容

クマ研究者 小池伸介氏によるオンライン講座

『ツキノワグマのすべて』（文一総合出版）著者

動物に装着したデータロガー（小型記録計）を使って、目視観察ができないクマの生態調査から導かれたクマを森から出さないためにやるべきこと

(5) 成果・所感等

クマにとって、よほどのメリットがない限りはわざわざ森の外へは踏み出さないことがわかった。それでも、クマが森から出るのには、魅力的な食べ物の存在がある。柿の実や農作物を取らずに放置したり、山に食べものの匂いの付いているモノを放置するなど、人間社会とクマ社会の空間で、気をつけることが多い。クマが飢えない森が存在することも大切。

4 政務活動費

(1) 用途項目 研究研修費

(2) セミナー参加費 500円